



石狩浜の植物
秋の注目は・・・

テンキグサとハマニガナ～浜辺の植物



テンキグサ



テンキグサという名前は、アイヌの人たちが乾燥させた葉を編んでテンキという入れ物を作っていたことに由来しています。葉がニンニクに似ていることから別名ハマニンニクとも呼ばれます。地味な姿ですが、地下茎を砂の中に伸ばして砂丘をしっかりとつなぎとめてくれるので、石狩浜では大事な植物です。



ハマニガナ



太陽に向かって黄色い花びらをいっぱいに開いて咲きます。6月から10月まで花期が長いのが特徴。砂の中に地下茎を伸ばして横に広がっていきます。

石狩浜の生きもの
秋の注目は・・・

夏から秋は、昆虫たちにたくさん出会える季節。波打ち際では、旅する渡り鳥にも出会えるかも

クジャクチョウ



はねに、クジャクのような目玉もよう

ノシメトンボ



はねの先に黒いもよう。別名「クルマトンボ」

トウネン



波打ち際で小エビを捕る。小さなシギの仲間



9月のおすすめイベント

9/23(日) はまなす広場

ハマナスの魅力をとことん味わう一日 入場無料

時間/10:00～15:00 会場/石狩浜海浜植物保護センター

●魅惑のローズヒップツアー 定員 15 名 参加費 800 円

ハマナスの実を収穫してクッキング

●ハマナスの砂丘の不思議発見「砂丘ツアー」参加費 500 円

●ハマナスを味わうはまなすティー試飲

●ローズヒップで飾るリース作り

随時 参加費 300 円

●ハマナス苗移植体験

●クラフト体験

●ハマナス博士になろう！ハマナスクイズラリー

●第 6 回海辺の風景写真コンテスト受賞作品展示

★そのほかハマナスの魅力満載のブース出展予定



10月のおすすめイベント

10/20(土) 秋の自然観察会 「あいロードパーク」を歩く

バスで厚田まで行き、色とりどりの紅葉や木の実を観察しながら、厚田「あいロードパーク」・ボクサナイ地区を歩きます。道の駅で休憩後、市役所へ。

●集合 8:50 市役所駐車場

●時間 9:00～14:00

●観察歩き 10:00～12:00

●道の駅 12:10～13:00

●持ち物 昼食、飲み物
野外を歩ける服装

●参加費 300 円

●申込・問合せ 環境保全課
電話 0133-72-3269

●締切 10月18日(木)



体験講座「ハマニンニクを編む」

石狩浜のハマニンニク(テンキグサ)を使って、①「小かご」か②「ミニチュアのカンカン帽」のどちらかを選んで作ります。夏休みの自由研究にも利用できます。

【内容】

開催日 8月19日(日)
時間 10:00~16:00

場所 石狩浜海浜植物保護センター

対象 小学生4年生以上~大人
(小学生は保護者同伴)

費用 無料

定員 6名(※申込順)

持ち物 エプロン、汚れてもよいタオル、昼食、飲み物

申込み 石狩浜海浜植物保護センター

電話 0133-60-6107(火曜日休館)

締切り 8/16(木)

①



②



森も海もある石狩でたくさん遊んで、たくさん学ぼう！

いしかりUMIBEキッズクラブ

2018年度新規会員募集中

年会費：1家族 3,000円(別途各回参加費あり)

【これからの活動スケジュール】

★9/2(日) 10:00~15:00

「砂丘の虫さがし~秋編」~砂丘特有の虫をさがします

★10/14(日) 10:00~15:00

「湿地(しめっち)へ行こう！」~湿地の植物をさがします

★ほかにも、ワカサギ釣りや冬のカシワ林をスノーシューで歩くなど季節ごとのプログラムを予定しています。

ハマナス Healthy Time

参加者募集中！

一面真っ赤なハマナスの花で覆われる石狩浜の原風景を取り戻したい！そんな願いをかなえるために、ご協力頂ける方を募っています。汗を流した後は、ハマナスティーなどをご用意しています。



【茶話会付き Healthy タイム】

9/6(木)・10/11(木)

★各回、ハマナス再生プロジェクトにご協力頂いている企業さんよりはまなすを使った製品の提供とお話があります。

【雑草外来種除去 Motto タイム】

8/23(木)・9/27(木)

※Healthy タイム、Mott タイム

どちらも 10:00 から 2 時間程度

参加者全員に「番屋の湯」当日入浴券をプレゼントいたします。



2018/6/24 「砂丘の虫さがし~初夏編」

石狩浜の流木と友人たち

石狩浜で私の今のお気に入りには流木拾いです。流木は近くの河川からきたものが多いのですが時にはるか南方から海流に乗ってはるばる石狩浜まで旅をしてきたと思うものを見つけることもあります。

小波をよけながら歩いてみると長く緩やかな弧状の石狩浜も実はビーチカスプという小さなものでは数m程度の弧状の微地形の集まったものなのだとわかります。

不思議というか当然というべきかこのカスプごとに打ち寄せられた流木の大きさ、形が似ているものが集まっているように見えます。



石狩浜のカスプと余市岳、手稲山



流木と増毛山地の山々

この頃は流木で「海岸の野鳥」を作ることが多いのですがあのシギの胴体部分はあのカスプ付近で、脚の部分はもう少し離れたあのカスプで見つけられるだろうと想像を膨らませながら歩くと時には期待どおり、時には期待外れ、更にはまったく跡形もなく消えてしまっていてがっかりさせられたり、逆に思いもしなかった形の流木を拾わせてくれるカスプ達は、軽いおふざけの好きな、でも楽しい友人たちのような気がします。(NPO 法人 いしかり海辺ファンクラブ 多田 光義)

こんなイベントを開催しました

【第6回 はまなすセミナー】

5月13日(日)、はまなすフェスティバル実行委員会の主催で、第6回はまなすセミナーが開催されました。会場は、札幌市環境プラザ。参加者47名。

今回は、フリーライター伊藤由起子氏による「生活文化史にみるハマナス～食用、薬用、香料～」のお話。

第1部「アイヌ文化とハマナス」では、文献や聞き取り調査から明らかになったハマナスの食用や薬用について、第2部「ハマナス香料のお話」では、北海道のハマナス香料作りの歴史をたどりながら、石狩でも花摘みが行われていたことが紹介されました。会場では、乾燥させたハマナスの実の観察、香り当てクイズ、はまなすハニー試食など、見て・聞

いて・香りを楽しむ

で、五感を楽しむ

「はまなすづくし」

のひと時となりました。



どうする？石狩浜で増える外来種

なぜ、外来植物を除去する？

近年、「外来種」という言葉がようやく普及してきたように感じます。人間界の国際交流が盛んになれば、人間活動に付随する生物たちの国際交流も盛んになるのもうなずけます。自然界では、人為的な改変を加えた場所には必ず外来植物が現れる、と言っても過言ではありません。

石狩浜でも、道路、駐車場、砂採取跡地、堤防・植林・造成地を逸脱して、原生植生の中に外来植物は侵入し、増加の一途をたどっています。では、なぜ、外来植物が増えるといけな

いののでしょうか？
まず考えられるのは、在来種が外来種との競争に負けてしまふことです。ここで言う競争とは、地上では光、地中では水分や栄養分を巡る競争です。カモガヤやナガハグサなどの牧草類は、地中に細かい根を張り海浜植物の地下茎や根の伸長を阻害するほか、地上では密生し、海浜植物を覆い隠し、光を阻害する影響が懸念されます。ロゼット型の葉を広げるタンポポやマツヨイグサの仲間も、海浜植物が地表で芽を出す妨げになっている可能性があります。

ほかにも、近縁外来種との交雑の可能性や、外来種に付随して在来種が耐性を持たない病害虫や病原菌・ウイルスが侵入すること、受粉に貢献するハチなどの昆虫類を巡る競争が生じている可能性もあります。

【第6回はまなすフェスティバル】

6月16日(土)、石狩海浜植物保護センターを会場に「第6回はまなすフェスティバル」が開催されました。当日は青空のもと爽やかな風が吹く絶好のフェスティバル日和。ハマナスの花びらを摘み、香り高いハマナス蒸留水作りを体験する「はまなすモーニングツアー」を皮切りに多くの家族づれで賑わいました。

石狩市の花であるハマナスの多様な魅力を体感してもらい、はまなすファンを増やそうと毎年開花ピークの6月に開催しているこのフェスティバル。今年は特に「はまなすの健康パワー」のアピールに重点を置き、ブース展開をしました。はまなすゼリーとはまなすティーの無料試食試飲、ハマナススクリームのハンドマッサージ、ハマナスの蒸留香り体験、ポップリ作りなどではPOPで健康ポイントを来場者に分かりやすく説明。また、定番のハマナスポストカードの配布、はなびらのポップリ作り、ハマナス苗の配布、観察園に設置された6つのハマナスの問題に答えるクイズラリーなどの人気企画も大賑わい。屋外テントでは、ハマナスを材料とする菓子やパンなどが並ぶカフェを開設。はまなすの食の魅力も堪能していました。



これらの影響は、目で見て簡単にわかるものではありませんが、石狩海浜植物保護センターでは、在来種への影響を最小限にするために、予防の観点から、センター敷地内と「はまなすの丘公園」の一部で外来植物の除去を進めています。

★4ページ目「はまなすの丘景観保全作業ボランティアさん募集」もご覧ください！



←カモガヤ

株が密生し、夏には茶色く枯れる。明治期に牧草として持ち込まれ、各地に広がる。



←石狩浜に多いタンポポの仲間の外来種・左；ブタナ（タンポポモドキ）

右；キバナノコウリタンポポ

ロゼット葉で地表を覆う。いずれも昭和期に札幌など道内で確認、各地に広がる。

(NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ理事 内藤華子)



テンキグサのぐるぐる
実物はこれだ!!



みつけられるかな?

おいでよ! 楽しさ 発見 いっぱい! いしかりはまかいひんしょくぶつ ほ ご せん たー 石狩浜海浜植物保護センター



植物にじっくりふれあえる 海浜植物保護センター 海辺の植物ウォッチング

毎月1回土曜
時間 13:00~14:00

9/15

ミヤマアキノキリンソウ(右上)など

10/6

ツルウメモドキ・実(右)など

- ★参加費無料・お申込み不要
- ★会場へ直接お越しください。



期間展示 第6回いしかり海辺の風景 写真コンテスト作品展

9/24(月)から10/8(月)まで展示、
その後石狩市民図書館などでも展示。

応募された作
品をすべて、
各受賞作品と
ともに、展示
いたします。



科学を楽しみ親しもう! 第8回「科学の祭典 In 石狩」

日にち 9月9日(日)

時間 10:00~15:00

石狩浜海浜植物保護センター展示場
こども未来館「あいぽーと」
テーマ

「海浜植物～葉っぱのひみつを
のぞいてみよう!!～」
ハマボウフウとハマヒルガオを中心
に、海浜の過酷な環境で生息している
海浜植物の葉の強靭さを体感しても
らいます。



ボランティアさん大募集! はまなすの丘公園景観保全作業

日にち 10月13日(土)

時間 10:00~12:00

集合 ヴィジターセンター駐車場
作業 外来植物除去など



観察園をみんなの「みーつけた!」看板でいっぱいになろう!

石狩浜海浜植物保護センターの観察園で何か
発見した人は、大人も子どももみんな観察園
レンジャー。観察園をよく見て歩いて、新し
い発見をしたらスタッフに教えてください。
発見者の名前がついた「みーつけた!」看板を
たてます。これまでの発見例～テントウムシの
幼虫、ニホントカゲのとおり道、アリジゴクの
巣など。



★ほかにも石狩浜では自然を守ったり親しめる活動がいっぱい! (下記のいずれも参加費無料)

- 石狩浜クリーンアップごみ拾い 8/16、9/20、10/18(第3木曜) 主催: NPO法人 いしかり海辺ファンクラブ
10:00 はまなすの丘ヴィジターセンター駐車場集合・2時間程度(小雨決行、軍手などごみ拾い可能な装備でご参加ください、ごみ袋は支給)
- はまなすの丘定期観察(中級者向) 毎月第1・3・5各水曜日 9:00 石狩浜海浜植物保護センター集合
(小雨決行、野外観察できる服装と靴でご参加ください) 主催: 石狩浜定期観察の会

発行
・
問合せ

石狩浜海浜植物保護センター(事業受託団体 NPO法人いしかり海辺ファンクラブ)
●開館期間4/29~11/3 ●開館時間9:00~17:00
●毎火曜定休(祝日の場合翌日休)
●〒061-3372 石狩市弁天町48-1 ●TEL: 0133-60-6107
●E-mail iufc.office@gmail.com
●HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>

周辺
地域
マップ

